

尿失禁の原因となる疾患

男性、女性、男女共通の疾患に分けて述べます。

男性

男性では前立腺肥大症が有名ですが、これは、「前立腺の良性過形成による下部尿路機能障害を呈する疾患で、通常は前立腺腫大と膀胱出口部閉塞を示唆する下部尿路症状を伴う」と定められています¹⁾。精液の一部をつくる臓器である前立腺が腫大することにより、膀胱からの尿の流出低下を起こすとともに、過活動膀胱の症状を起こします²⁾ (図1)。

女性

女性では骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁 (図2 A) がありますが、こちらは「10. 骨盤臓器脱女性に生じる尿失禁とその対処法」で詳しく述べているので、そちらをご覧ください。

男女共通

男女共通の疾患としては、尿路感染症や過活動膀胱による尿失禁、排尿筋低活動による残尿が増えることによる溢流性尿失禁 (図2B)、足腰の痛みなどですばやく動けない、トイレの場所がわからない、そもそもトイレに行く気がなくなるなど、尿路の機能異常以外で尿失禁が起きる機能的尿失禁があります。

それ以外には、除外しておきたい泌尿器科疾患として、膀胱がん、前立腺がん、膀胱結石などがあります³⁾ (表1)。

後述の問診や検査で、尿失禁など生活に支障の出ている症状の原因となる疾患を絞り込んでいきます。

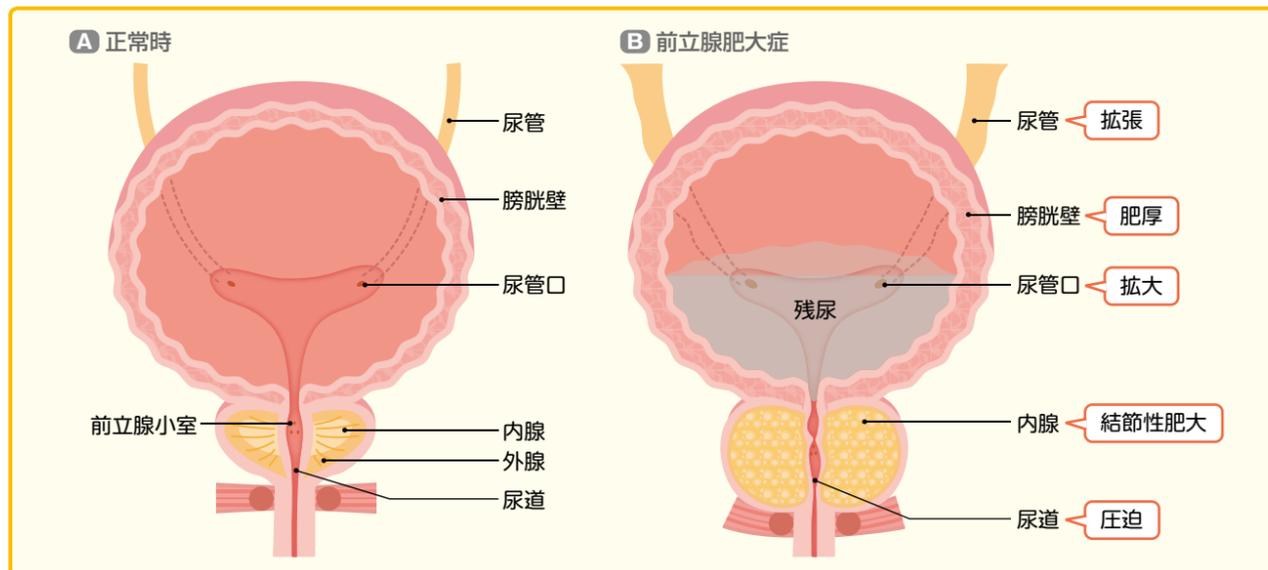


図1 正常な前立腺と前立腺肥大症

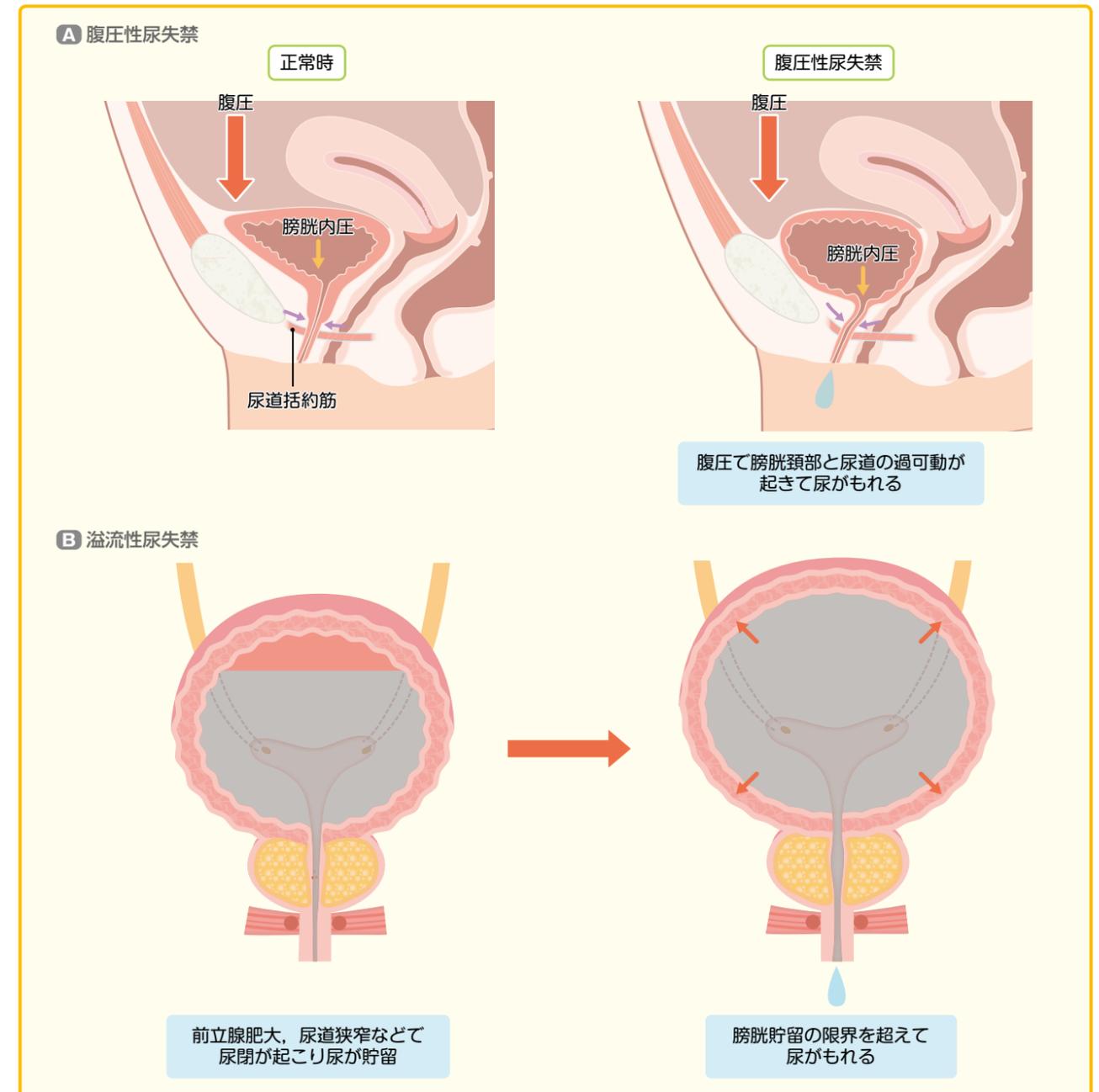


図2 腹圧性尿失禁と溢流性尿失禁の病態

表1 過活動膀胱と鑑別すべき疾患・病態

1. 膀胱の異常	膀胱がん、膀胱結石、間質性膀胱炎
2. 膀胱周囲の異常	子宮内膜症など
3. 前立腺・尿道の異常	前立腺がん、尿道結石
4. 尿路性器感染症	細菌性膀胱炎、前立腺炎、尿道炎
5. その他	尿閉、多尿、心因性頻尿